



『越知のたから』

越知小学校 令和7年6月27日 NO.12



自分のために

❖きき名人になろう❖

相手のために

越知小学校では、6・7月は特に「きく力を伸ばそう」と子どもたちに話しています。「きく」の同音異義語は5種類ありますが、そのうち3種類の「きく」の力を付けていきたいです。保護者の皆さんも一緒に「きき名人」をめざしませんか？

「聞く」・・・一般的によく使われる「聞く」です。聞こえるや聞こえてくるように意識しなくても聞こえるという意味もありますが、情報を受け取るという意味もあります。誰かの話を聞いて、情報を受け取ることで、世界が広がりますね。

「聴く」・・・相手の話に心を込めて耳を傾ける、傾聴の「聴く」になります。相手の気持ちを想像したり、思いを受け止めたりしながら聴くことができると、相手と信頼関係を築くことにもつながります。思いやりにあふれる「聴く」力が育ってほしいです。

「訊く」・・・あまり馴染みのない「訊く」かもしれませんが、分からないことや知りたいことを相手に尋ねる「訊く」です。「これってどうやるの?」「これはどういう意味ですか?」など、「訊く」ことで新しい知識を得たり、深く知ることにつながったりします。成長につながる「訊く」です。そして、その先に「対話」が生まれます。

お知らせ:人権擁護委員さんより、たくさんグッズをいただきました。来週、配付します。ご家庭で、グッズを見ながら人権について子どもたちと話してみてください。



3年生にアメリカから「木村拓人さん」が体験入学に来てくれています。

今年で3年目なので、3年生はすっかり仲良しです。

7月4日まで、一緒に過ごします。